

平成23年度 改正工種概要

(別紙-1)

番号	項目	改正項目の一例	
		現行(H22歩掛)	改正
<b>機械土工(土砂)</b>			
1	○ 施工機械の見直し ・ダンプトラック積載量の減少	10t積載	9.5t積載
	○ 日当り施工量の見直し ・100m3当り運搬日数が増加	(バックホウ山積0.8m3による積込で、DID区間なし、運搬距離10.0kmの場合) 3.0 日/土砂100m3あたり	3.1 日/土砂100m3あたり
<b>安定処理工</b>			
2	○ 施工機械の見直し ・排出ガス対策基準値の変化 : 固化剤散布	バックホウ クローラ型 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊(賃料) (排出ガス対策型 第1次基準値)	バックホウ クローラ型 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊(賃料) (排出ガス対策型 第2次基準値)
<b>ジオテキスタイル工</b>			
3	○ 壁面材(鋼製ユニット)の規格(高さ)を設定	-	600mm以下
<b>排水構造物工(管(函)渠型側溝)</b>			
4	○ 施工機械の見直し ・使用機械の小型化 ・保有形態の変化(リース化) ・排出ガス対策基準値の変化 : 200以上400mm以下	バックホウ クローラ型 山積0.45m3 クレーン機能付 2.9t吊(損料) (排出ガス対策型 第1次基準値)	バックホウ クローラ型 山積0.28m3 クレーン機能付 1.7t吊(賃料) (排出ガス対策型 第2次基準値)
	かご工		
5	○ 施工機械の見直し ・排出ガス対策基準値の変化 : じゃかご・ふとんかご	バックホウ クローラ型 山積0.8m3(損料) (排出ガス対策型 第1次基準値)	バックホウ クローラ型 山積0.8m3(損料) (排出ガス対策型 第2次基準値)
<b>堤防除草工</b>			
6	○ 施工形態の見直し ・人力による集草作業 : 労務人員の増加	0.70人/1,000m2	0.74人/1,000m2
<b>砂防(コンクリート工)</b>			
7	○ 施工形態の見直し ・型枠材料の変化	鋼製型枠	木製型枠
<b>路面切削工</b>			
8	○ 施工機械の見直し ・路面清掃機械の小型化 : 路面清掃作業	路面清掃車 ブラシ式2.5~3.1m3 四輪式 10t積載	路面清掃車 ブラシ式1.5m3 四輪式 9.5t積載
	○ 日当り施工量の見直し ・施工規模別の施工量を設定 : 全面切削(6cm以下)  ・100m3当り運搬日数が増加	1,800m2/日  (DID区間なし、運搬距離10.0kmの場合) 3.3 日/廃材100m3あたり	(4,000m2以下) 1,400m2/日 (4,000m2超え) 1,800m2/日  3.4 日/廃材100m3あたり
<b>目地補修工</b>			
9	○ 目地補修(目地)歩掛の廃止	(目地補修(目地))	-
<b>橋梁地覆補修工</b>			
10	○ 足場・防護工の使用区分の見直し	施工延長による選定 (500m未満/500m以上)	施工条件による選定 (片側施工/両側施工)